

KiKiの広場

2015年 11月 1日

cafe NO.61
KiKi



朝晩の冷え込みと共に、紅葉の美しい季節となりました。「ちいさい秋みつけた」の作者サトウハチローは、家の庭に植えられた深紅に染まったはげの枝葉を眺めて作詞したそうです。ヒストリアの前のプラタナスも次の春に葉を出す為、紅葉して養分を取り込み始めています。そしてその一仕事が終わると、今度はこちらに日々の仕事が待っています。落ち葉の絨毯も美しいですが、そのままというわけにはいかないですね。ファイト!(^_^)

11月の予定

13日(火)	休館日
毎日曜日	定休日
23日(月)	臨時休業



「今月のケーキ」…「バナナキャラメルケーキ」350円

生のバナナを練り込んだ生地、キャラメル生地を挟み込んでこんがり焼き上げ、しっとりとなめらかな生地とグラブルのサクサクとした食感が特徴です。温めるとバナナとキャラメルの甘い香りが一層引き立ちます。

今月のお気に入り…「アジアの絵本」

～「ながいながいかみのおひめさま」「シナの五にんきょうだい」「ほしになつたりゅうのきぼ」「スーホの白い馬」などなど～

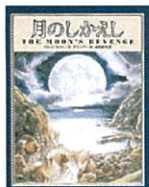


中国・韓国を始めインドなどアジアの絵本が最近よく出版されていますが、お話も絵も心惹かれる本がたくさんあります。古典も含めて紹介してみたいと思います。「ながいながいかみのおひめさま」は、毎日100人もの侍女たちが手入れをするほど、長くて美しい髪のおひめさまパリニータが、生まれて初めて外の世界に飛び出し、心も身体も解き放たれていくインドのお話です。パリニータがみんなの幸せを願って、自分の髪を与え歌をうたうことで次々と奇跡が起こります。予想外の結末に驚きながらも、パリニータの優しさが心にしみてきます。



今月の本棚…「不思議な絵本」

～「月のしかえし」「まさ夢いちじ」「おぞましいいゅう」「名前のない人」「真昼の夢」「終わらない夜」「そこなし森の話」など～



月がしかえし? いったい誰に? なぜ? 題名と幻想的でちょっと不気味な絵に思わず引き込まれてしまう「月のしかえし」は、読み応えのある物語絵本です。キーワードは「7」という数字とバイオリンの音色。神秘的な絵と共に、なぜ月が怒ったのか、誰にどんな仕返しをしたのか、先の読めない展開に心を奪われます。「まさ夢いちじ」は、ミステリーの第一人者C・V・オールズバークの作品です。



意地悪な主人公ピボットが、食べると夢に見たことが正夢になるといういちじくをもらい、金持ちになる夢を見ようと必死になります。実はこのお話にもキーワードが…それはピボットの飼い犬でちっともかわいがられていないマルセルです。いやーな主人公ピボットの結末はいかに? 最後はとても痛快です。

ほっとフレイク

将棋ボーイその後…久しぶりに、「子ども将棋教室」の指導者の方たちにお会いしました。いつものように将棋の棋譜(将棋の対局での手順記録)について、みなさんと熱く語っておられました。「子ども将棋教室」は、ヒストリア宇部のオープン当初から同館で開催されています。いったい誰の棋譜について話されていたかと言うと、現在小学校6年のS君と指導者の方々が対戦したものでした。私が初めてS君に会ったのは2年生の時、まだ本当にあどけなくて一緒に折り紙をしたこともありました。ただその時もすぐに折り方を覚えて確実に自分のものにしていたので、すごいなあと思ったものでした。S君はその後あっという間に腕をあげ、市どころかすぐに県の代表になり、今や全国大会に挑戦したり大人の大会でも上位に残る強者に成長しています。指導者の1人Nさんが、「もう僕は勝てないんです。」と笑いながら言われていました。今や県の名人位からも白星が取れるS君、周りも期待してしまうかもしれませんが、これから彼がどんな人生を歩くにしても、ずっと努力してきたことと、多くの大人たちに見守られてきたこれまでの経験が、きっと活かされることでしょう。

